



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部 70 円

8・9月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【福音宣教】	（8月）教会
【世界共通】	（9月）環境に配慮した持続可能な生活
【日本の教会】	（8月）平和の実現 （9月）すべてのいのちの尊重

2023年 第16回世界代表司教会議総会へ シノドスの旅 ―ともに歩む教会―



シノドスに関するバチカンの公式サイト（<http://www.synod.va/>）。5ヶ国語でシノドスに関する情報が発信されている。

第16回世界代表司教会議（シノドス）の通常総会が2023年10月に予定されている。今回のシノドスのテーマは「For a synodal Church: communion, participation and mission」（本紙仮訳「ともに歩む教会をめざして・交わり、参加、宣教」）。このシノドス総会に向けて教皇は2年間の準備期間を設定し、全てのキリスト者が関わる道筋を提示している。シノドスとは？そして私たちはどのような歩みをするのか？教区長のヨゼフ・アベイヤ司教に聞く。

て代表者の人数が決まる」と共に、修道会の総長協議会の代表者、バチカンの各部省の責任者や教皇が任命された何人かの司教たちが参加します。それに、オブザーバーという立場で招かれた修道者信徒（全部で70人ぐらい）も参加します。オブザーバーには発言権がありますが、投票権がありません。普通、シノドスの会議の期間は3週間ですが、その前に様々な準備が行われます。世界の各司教団や他のグループの意見を基にして、審議の土台となる草案が作られます。シノドスは教皇にいくつかの提案を提出します。その後、教皇はそれらを参考にして「使徒的勧告」といわれる文書を発表されます（例えば、『福音の喜び』、『愛の喜び』などです）。全世界の各教区がそれを受けて、自分たちの

歩みを振り返り、教会の刷新を目指します。2023年のシノドスは、今までのシノドスとは違うところがあります。教皇の意向を受けて、2年間の道のり（シノドスの旅）が企画されています。シノドスのテーマを通して、教皇フランシスコが目指している教会が示されています。「ともに歩む教会をめざして。交わり、参加、宣教」。そして、実際に「ともに歩む教会」ということを具体的に実行しようとしておられます。シノドスの歩みは各教区で始めることが決められたのです。

今、世界中を見渡した時、平和とは程遠い現状に胸が痛みます。無力な私にとって世界のことを考えることと大きく過ぎて、折ることぐらいしか出来ません。そんな私ですが、今から16年程前に、松浦悟郎司教様（名古屋教区）の呼びかけから始まった「ピース9の会」があることを知り、入会させて頂き、久留米教会のメンバーの皆さんと活動を続けてきました。

メンパーと新聞の切り抜き等を持ち寄って話し合う時間を待ちながら、松浦司教様の平和講演、被爆者語り部の会、教会の皆さんと月に一度の分かち合い、バザー等、様々な活動をしてきました。考え方は色々あっていいし、賛否両論あっていいけれど、信仰の視点を持った人たちと一緒に平和のことを考えていきたいという思いからの活動でした。他の教会の方たちと交流する機会もあり、たくさん力を頂くことが出来ました。こしはらくはコロナ禍のため思う様に活動が出来ていませんが、日常生活の中で自分に出ることを見つけていきたいと思います。

久留米教会 森 智子

「せんせい、けむしがいるよ」「えっ、どこ？」。見てみると、黒い体の背中に一本の真っ赤な線を引き、毛が四方八方に出ていて実にグロテスクな虫。「先生、花壇にもたくさんいますよ」との保護者の叫びに飛んでいった先生は、「これは害虫ではなく、成長して蝶々になるんです。ご安心ください」といって、捕まえて虫かごに入れた。子ども達は、虫かごの幼虫を毎日観察した。数日後、「せんせい、たくさんいたのに」「ぴきだけがうごいてるよ」と伝えにきた子ども。その数日後、「みんないなくなったよ」と言ったのに対し、先生は「かごのふたをよく見てごらん。何かぶらさがっているよ」と答える。「あつ、さなぎになっている」と驚いた様子の子ども。ある朝、「せんせい、オレンジいろしたちようちよになっているよ」と叫びながら子どもが教えに来てくれた。そう、毛虫扱いされた幼虫は立派できれいな羽を広げた蝶々になったのである。▼外見では分からない人は多い。言葉使いや様子は天使か聖人かと思わせても、内側に何がひそんでいるか知れない。たまに、「えっ、この人が？」と人を感得せる言葉を耳にした。イエスは律法学者やファリサイ人の心を見抜き、「人の目には正しいように見えても、内側は偽善と不法でいっぱいだ」（マタイ23章参考）と言われた。容貌が美しかったソロモン王は神に、「富や栄誉ではなく、善悪を判断する知恵をください」と謙虚に願っている（列王記上3章参考）。主の教えに従い、外側と内側を整えながらまっすぐに生きていきたい。（S）

久留米教会 森 智子

シノドスとは
2023年の10月にローマで第16回の通常シノドスが開かれる予定です。シノドスは、ギリシャ語にそのルーツがあります。「syn」は「共に」、「odos」は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

日本カトリック平和旬間（8月6日～15日）
日本のカトリック教会は8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と定めています。今年は新型コロナウイルス感染症のために、全国的にも、また福岡教区内でも大きな集会はできませんが、ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会となりますように。

2021「日本カトリック平和旬間」賛同企画

平和を祈る集い
日時：8月9日（月・山の日）
第1部 講演会 13時～14時30分
第2部 平和祈願ミサ 15時～16時
場所：カテドラル大名町教会 2階大聖堂



オンラインで同時配信

※詳細は各小教区に配布されているポスター・チラシ、または教区 HP（下記 QR コード）をご覧ください。共に平和について考え、祈りましょう。



その後、来年の3月末までに、ローマから送られてくる指針に従って、各教区がシノドスに提案したいこと、問いかけたいこと等をまとめて、日本の司教団を通して、シノドスの準備委員会に送ることになっています。それによってシノドスは、司教のものだけでなく、教会全体の集いになります。これこそ教会の

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

は「道」です。「共に歩む」ということです。私たちの言っているシノドスは、全世界の司教代表者会議です。シノドスは基本、3年ごとに行われることになっています。各国の司教団の代表者（その国の司教数によっ

アベイヤ司教 教区内司牧訪問

1年をかけ、全ての小教区へ出向くヨゼフ・アベイヤ司教の司牧訪問は、福岡県に再発出された緊急事態宣言で再び中断を余儀なくされたが、解除を受け訪問を再開した。今回は北九州地区2教会からの、待ちに待った喜びとめぐみのときの様子をお届けする。

黒崎教会



識別の大切さを語るアベイヤ司教

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で黒崎教会へのアベイヤ司教の訪問予定が延期となっていたが、公開ミサが再開され7月11日（日）にアベイヤ司教が訪問した。現在、黒崎教会ではコロナ感染対策として主日のミサを2回行っており、更に第2日

今月、8月15日にカトリック教会は聖母マリアの被昇天を祝います。また、日本人にとってこの日は、特別の意味があります。76年前に日本の社会の平和への道が始まったのです。今、皆はその道を歩み続けて、次の世代に伝えようとしています。

現代、平和の問題を深く感じ、平和の賜物を熱烈に擁護するのは、言うまでも無く教皇フランシスコです。第54回の「世界平和の日」のメッセージで私たちに平和への道のりとして「ケアの文化」を提案しました。その「ケアの文化」とは、他人に対しての無関心を捨て、姉妹兄弟への愛を示し、特に弱い者に心をかけることです。そして、教皇は今年1月1日、神の母の祭日にあたり、アンジェラス（お告げ）の祈りの時に、コロナ感染のパンデミックに関連してこのように語りました。「…私たち一人ひとり、現代の男性と女性は、平和を実現するために呼ばれています。…これは神から与えられた仕事です。…平和は人生の中にあるもの。それは戦争が無いことだけではなく、個人的な生き方の充満と他の人との友愛的分かち合いによる豊かな生活です。…私の希望は、平和が人と家族の心に、職場やレジャーの場所で、コミュニティーや国家の中で君臨することです。…平和、平和」と。

【聖ヨセフと共に平和の道を歩む】

D・アルビン神父

(呼子・馬渡島教会)



この平和の希望は、聖ヨセフへの教皇フランシスコの眼差しにも影響したことでしょう。使徒的書簡『父の心で』の中で平和、「Shalom」（シャローム）の言葉を一回も使わなくても、聖ヨセフを「Shalom」の人として見ていいるところがあります。平和は単なる言葉だけでは表現されないのです。喜び、自由、完全性、和解、共同体、和合、正義、真理、コミュニケーションなども含めて、豊かな現実を表すのです。その全ては神と人との一致や人との間の一致から出るものです。この一致は、「Shalom」というお恵みであり、平和の本質です。これは私たちに与えられた聖ヨセフの人生、生き方から成り立っています。

今、世界の平和は、全人類の大きな課題ですが、より重要なことは平和の賜物を一人ひとりの心に、自分の家庭、環境、至る所に導き入れることです。これは私たちそれぞれの義務であり責任です。しかしながら、自分の力だけを当てにしませんように。被昇天された聖マリアの取次と聖ヨセフの導きを通して真の平和、主イエスの平和に達するものなのです（ヨハネ14章27節参考）。

ミサを生き

共同体に仕える聖体奉仕者

福岡教区聖体奉仕者任命式

92人に任命書授与



聖体奉仕者の心構えを語る司教

福岡教区聖体奉仕者の任命式が、7月4日（日）、カテドラル大名町教会で行われた。今回の任命式は、昨年10月に任期満了を迎えたがコロナウイルス感染拡大のため任命の更新が行えずに延期されていたもの。任命されたのは92人、当日は54人が出席した。任命式に先立ち、アベイヤ司教が「信仰の神秘・ミサを生きる」と題して講話。聖体奉仕の源泉である感謝の祭儀（ミサ）の意味を確認し、よりふさわしく聖体奉仕の使命を果たしていくための心構えについて語った。

「弟子たちを愛し、この上なく愛し抜かれたイエスは、最後の晩さんの席で、弟子たちの前にひざまずきかれらの足を洗って、その愛を実践され模範を示された。そして、同じ席で、わたしたちのためにご自分を『渡し』与えつくす愛のしるし、いのちの糧として聖体を制定された。教会は、この時の『これをわたし』の記念として行え」というご命令を忠実に守って、その歩みの初めから、『週の初めの日、共に集って、みことばを聞きパンを裂き（ミサ）、以来2000年にわたって連綿とこの愛の神秘、死と復活の記念を祝い続けてきた。ミサは今も、そして『主が来られ

る日まで』人を生かし続ける。このミサにわたしたちはどのように参加した奉仕し、その糧を受けて生活はどう変えられる、そこから宣教に向けてどう踏み出しているだろうか。聖体奉仕者は、日々、生活とミサを深く結びつけ、兄弟姉妹に尊い賜物を授け、特に病人、高齢の方にイエスのいのちを届けて、共同体とのつながりを深め、共同体をともに作りあげていく。」

続いて、アベイヤ司教の司式でミサと任命式が行われた。任命式では、奉仕者全員の名前が読み上げられ、聖体奉仕の務めについての司教の講話と祝福の祈りの後、全奉仕者を代表して小郡教会の松原典夫氏に任命書が授与された（写真）。その他の奉仕者の任命書は、後日それぞれの小教区に送られ、主任司祭から各自に渡された。任期は2024年7月末までの3年。聖体奉仕者の多くがコロナ



代表者の任命書授与を見守る出席者



計報

アデレ・フルラン 修道女

(カノッサ修道女会)

2021年6月29日帰天。享年104。修道生活84年でした。

マリア・モニカ 遠山 フユノ 氏

遠山満神父（笹丘教会主任）のご母堂が7月8日帰天。享年92。

↑帰天された方々の永遠の安息と遺された共同体の兄弟姉妹、ご家族の上にいつくしみ深い主の慰めをお祈りいたします。

カトリック古賀教会 納骨堂のご案内

カトリック古賀教会内に3年前に建設された、比較的新しい納骨堂です。年に1度、主任司祭による慰霊祭も執り行われております。取得費用は、下記の通りとなります。1区画 ¥300,000（別途、管理料等がかかります）

詳しい資料、見学等のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

カトリック古賀教会

住所：福岡県古賀市花見東2丁目23-1

電話：092-942-2171



広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください

福岡教区本部事務局 広報部

電話：092-522-4059

メール：cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で1回（ひと月）5,000円の献金（目安）をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

人生の多感な時を過ごすこの時代。学業と信仰教育の結びつきについて、その様子や課題などを現場から月替わりでご寄稿いただく「ミッションスクールの今」。第3回目は福岡県久留米市にある久留米信愛中学・高等学校に話を伺った。

久留米信愛中学・高等学校 (福岡県久留米市)

久留米信愛中学校・高等学校は、「久留米に女子の高等教育を行うカトリックのミッションスクールを」という市からの要請を受けて1961年に設立されました。当初は「久留米信愛女学院」でしたが、2018年度からの共学化に伴い、校名を改めました。共学化は外に見える大きな変化でしたが、建学の精神が変わるわけではありません。変える必要のあるもの、変えてはいけないもの。立ち止まってこの見極めをすることは、わたしたちが大切にしたいものは何なのかをじっくり考えるよい機会となりました。

大切にしている伝統の一つに、「池のマリア様へのあいさつ」があります。校門を入ってすぐのところにある聖母像、通称「池のマリア様」。これは高等学校第二期生の卒業記念品であり、代々信愛生は登下校時、このマリア様の前で一礼するという習慣を大切にしてきました。新入生は入学式翌日に、まずこの伝統について聴き、その意味を理解し、自然なかたちで「礼」をするようになります。台座にはラテン語でヨハネ8章32節の言葉が刻まれています。「真理はあなたたちを自由にする」。宗教の時間まず初めに覚えるみ言葉は、自然とこの一節になります。「真理って何?」「自由ってどういうこと?」…そんなこと今まで考えたこともない!という表情でキョトンとする生徒、目を輝かせて考え始める生徒、教室全体に新鮮な風が吹き始める瞬間です。ここで生徒たちは、「毎日考えても答えが出ないかもしれない、でも考えることに深い意味がありそうな問い」に向き合う体験をします。

男女が共に学ぶようになって、宗教の時間に寄せられる新入生の初々しい質問の種類も広がりました。シスターの生活について紹介すると「ぼく、シスターになる!」と一人の男子生徒が冗談とは受け取れない嬉しそうな顔で話しかけてきたことも。「…うーん、君は…神父様になったらどう?」「え?シンプって何ですか?」多くの生徒は、初めて聞くカトリック用語に興味津々です。

教員、生徒ともに信者数はほんのわずか、教壇に立つシスターたちも年々減り、今は一人となりましたが、カトリックの教えに基づく信愛教育を教職員は大切に、修道会のモットー「一つの心一つの魂」(使徒4:32)を共有し、「自己を他者に生かす」を合言葉に生徒指導に当たっています。



池のマリア様に見守られて

朝礼で主の祈りを唱え、聖歌を歌い、終礼でアヴェ・マリアの祈りを唱え、毎時間授業の始まりには黙想のひとときを持ち、昼休みの終わりにはアヴェ・マリアの曲を聞きながら5分間の黙想で心を落ち着かせ、週1回の宗教の時間で普段考えないようなことを考える…そんな学院生活を通して、生徒たちの心の中に飼い葉桶の御子の愛が刻み込まれ、今後の人生を照らす内なる光が灯っていくことを願う毎日です。

(宗教科 Sr. 小粥裕子)



- 3 -

2015年の聖霊降臨の祭日に『ラウダート・シ』とともに暮らす家を大切に』という回勅を出しました(2016年8月にカトリック中央協議会



ラウダート・シ 宇宙の賛歌 (小郡教会ステンドグラス)

9月5日(日) 被造物を大切に する世界祈願日

宣教委・宣教企画推進部
山元 眞 神父 (小郡・鳥栖教会主任)

から翻訳出版)

アシジの聖フランシスコの「太陽の賛歌」の言葉で始まるこの回勅(すべての信者への手紙)は、神から与えられたすばらしいこの地球とすべての被造物を守る使命がすべての人にあることを強く思い起こさせます。

教皇は環境を守る具体的な活動の一環として、すでに1989年から正教会のリーダーシップで始まっていた「被造物を大切に」する世界祈願日」という地球規模の環境を守る超教派の運動を共にすることを望まれました。

その年の8月の手紙で教皇

は次のように呼びかけています。

『被造物を大切に」する世界祈願日』は一人ひとりの信者や共同体に対し、被造物の管理者となり、神が大切にするようにと私たちに託されたすばらしい作品について神に感謝し、そして被造物の保護と私たちが住んでいるこの世界に對して犯した罪についての神の赦しのために神の助けを頼願し、自らの個人的な使命を再確認するのに適した機会を提供することになります。』

9月1日は平日にあたることも多いことから、日本の教会はこの祈願日を9月の第1日曜日としています。今年は9月5日が「被造物を大切に

9月26日(日)

世界難民移住移動者の日

社会福音化委員会・難民移住移動者部

谷口 尚志 神父 (水巻教会主任)

「世界難民移住移動者の日」。1970年に当時の教皇パウロ6世によって移住・移動者司牧評議会が設立されたことを受けて定められたこの祈願日は、日本の教会では毎年9月の第4日曜日と定められています。個人や各小教区などの枠を超えた全世界の人々と共生する決意を新たにすることとして呼びかけられているこの日に、もっと身近なことから受けとめるように促され、祈りと献金をささげるのです。

実際、ここ数年の国内、教区内における外国籍の方(特にベトナム籍の青年層)の増加数は顕著で、私自身、司祭としてこれまで様々な事情を抱えながら苦悩し、悩みを抱えている青年が多くなっていることを耳にしました。実際にミサにきている青年から相談を受けたこともあります。しかし、それまで他人事のように思っていた私にとつて、その時の対応は行き届いたものではありませんでした。具体的にどのように対応したらいいのかを理解していなかったからです。いつでも教会に相談に来てくださいという案内をするだけでは、悩み事を解決したり、彼ら自身を経済的に支援したりすることができないことを自覚させられた次第です。

昨年、教皇フランシスコは「世界難民移住移動者の日」にあつてのメッセージの中で次のように話されました。「移住者と避難民のこととなると、話題に上がるのは数ばかりです。そこで扱われているのは数字ではなく人なのです。彼らに会えば、彼らを知ることができるように、彼らを理解できるようにになります。」

このように、私たちにできることは、まず出会うこと、知ること、そして理解することです。このプロセスによって、彼らを立ち止まらせずに自ら歩き出せるように支援を行う団体や同伴者につなげる

それを実行する力と勇気を願います。私たちが住む家「地球」のすべての被造物を守るために、具体的に何ができるかを探し、

ことができます。もちろん、実際に支援を行う者として働くことは善きサマリア人のたとえ話(ルカ10章33節、37節)の人物と重なるほどのものです。しかし、支援を行う当事者につなげる存在も同時に重要なのではないのでしょうか。

技能実習生のこと

岩本光弘(黒崎教会)

昨年春からベトナム人の青年たちに会う活動をしていました。各地で必要な情報が書いてある資料を配って話をします。問題が起きた時にどうするか、誰に相談するのかを教えるためです。私たちの会(外国人技能実習生権利ネットワーク・北九州)には各地から相談の連絡が入りますが、半数以上の問題は九州以外の各地の団体経由で知らされます。九州では誰に頼つたらいいのかを知らないからです。皆さんにお願いします。教会にきている外国人に関心を持ってください。イエス様の目や耳になってください。そして問題があつたときは私たちに連絡してください。一緒に解決しましょう。

大村入管のこと
前田由樹(大名町教会)

美野島司牧センターでは毎月大村入国管理センターを訪れ、収容されている方々と面会しています。難しい問題を抱える方ばかりで、初対面の時は何を話そうかと悩みながらとちとちあえず「こんにちは」と言います。なかなか話が弾みません。それでも時間を共有することで少しずつ打ち解けてお互い笑顔になります。別際には宗派を問わず祈りの時を持ち、司祭が同席の場合には祝福をいただきます。私たちは法律などの専門家はありませんが、外遇改善には貢献できませんが、ひとときの笑顔のために訪問を続けます。



☆武器ではなく命の水をおくりたい
中村哲医師の生き方
宮田 律 著



2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあつた生涯をたどりながら、その生き方、考え方を伝える。

平凡社 発行
税込価格1540円



☆川があふれた! まちが沈んだ日
だ! 生きる力をくれたキジ馬くん
チームキジ馬くん
古山 拓 絵 編



豪雨被害に遭った熊本、人を支援する絵本。
2020年7月人吉球磨豪雨災害。

氾濫した球磨川を愛し、共に生きていく決断をしていく人々のストーリーを1冊の絵本にして、今回の災害を子どもたちに引き継ぎたい。

パピルスあい発行
税込価格1540円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM3時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標 **ともに歩み
支えあっていく共同体**

和田墓地開放日と追悼ミサ

8月の開放日 8月13日～15日、10時～15時
8月15日 追悼ミサ 中止
納骨式 13時～14時
※参列者は密にならないようにしてお参りを
お願いいたします。
納骨堂管理委員会 ☎080・2771・6544

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：祈りの実り：イエス様と共に、
イエス様のように生きること

日 時：9月9日(木) 10時～15時 (8月は休み)
内 容：「病氣や患いを癒された」イエスの模範
に従う(マタイ4:24)

指 導 者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
次 回：10月14日(木)
「福音を宣べ伝えた」イエスの模範に従
う(マタイ4:24)

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

miniFYCC 開催のお知らせ
テーマ「**であい・さいかい・わかちあい**」
福岡教区中高生対象 参加費無料！！

内容：レクリエーション、講話、分かち合い、製作等
※参加は1回でも、途中からでも可

第1回 8月22日(日)(申込〆切 8月15日)
大名町教会 1階講堂 14時～15時
第2回 9月26日(日)(申込〆切 9月15日)
ZOOM(オンライン) 14時半～16時半
第3回 10月24日(日)(申込〆切 10月17日)
大楠教会・聖クララ幼稚園 14時～17時

※申し込みは右記QRコードから
QRコードが読めない場合
<http://forms.gle/XbUcJx7Szwjy2dwGA>
問い合わせ
catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp

—お詫びと訂正— 教区報7月号 4面 集い欄
× 聖アンナ聖ヨアキム記念日のミサ
○ 聖ヨアキム聖アンナ記念日のミサ
*「聖ヨアキムと聖アンナ会」はカトリックの教会暦で制定されている
「聖ヨアキムと聖アンナの記念日(7月26日)」に集う会です。

福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

1419コース・マルセル神父
(問合せ先) ☎092・431・
た方を訪問 第3土曜日14時
路上からアパートに入居し
14時 夜回り20時から 調理
回り 第1・3金曜日
○ホームレス支援炊出し・夜
お昼ごはん 毎週火曜日10時
○ホームレスの方に手作りの
ともに働きましょう。

■美野島司牧センター
降りてきてくださる神様と

921・4532山口
ち合い(問合せ先) ☎092・
祭召命を願うロザリオと分か
合(問合せ先) ☎092・
祭召命を願うロザリオと分か
合(問合せ先) ☎092・

業務お休みのお知らせ
教区本部事務局、およ
びカテドラル大名町教
会事務局
8月13日(金)～16日(月)

編集後記
スペースが…。酷暑の折、
皆様ご自愛ください。(w)

9月のこよみ **案 内 板** **会合と催し** **8月のこよみ**
■ゴチックは司教日程

1日(水)	すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)
2日(木)	常任司教委員会
5日(日)	年間第23主日 被造物を大切に作る世界祈願日 笹丘教会司牧訪問 ↑H.ハンター(2010年 大江教会)
6日(月)	↑D.ギル(2008年 手取教会)
7日(火)	福岡教区司祭集会 ↑フランシスコX.牧山重光(2005年 門司港教会)
8日(水)	↑K.デバイン(2009年 人吉教会) ↑フランシスコX.山田成章(2013年 茶山教会)
10日(金)	↑J.パーク(2000年 崎津教会)
11日(土)	↑ステファノ百村等(2017年 聖パウロ修道会)
12日(日)	年間第24主日 直方・田川教会司牧訪問 ↑A.セトアイン(2003年 泰星学園)
14日(火)	十字架称賛 厳律シトー会 荘厳誓願式(伊万里)
19日(日)	年間第25主日 戸畑教会司牧訪問
20日(月)	聖アンデレ金と同志殉教者
21日(火)	聖マタイ使徒福音記者
23日(木)	聖ピオ(ピエトレルチーナ)司祭 ↑J.パイヨ(2004年 光丘教会)
24日(金)	↑ヨゼフ深堀敏司教(2009年 高松教区長)
26日(日)	年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)
27日(月)	聖ビンセンシオ・ア・パウロ司祭
28日(火)	聖トマス西と15殉教者
29日(水)	聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
30日(木)	聖ヒエロニモ司祭教会博士
【10月】	
1日(金)	聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士

1日(日)	年間第18主日 飯塚教会司牧訪問
5日(木)	平和祈願ミサ(広島) ↑ベトロ平田三郎司教(2007年)
6日(金)	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日) 原爆とすべての戦争犠牲者のためのミサ(広島)
7日(土)	↑J.P.ラベル(2004年 大神学院)
8日(日)	年間第19主日 若松教会司牧訪問
9日(月)	平和を祈る集い(福岡地区信徒協主催) 長崎原爆犠牲者追悼ミサ
10日(火)	聖ラウレンチオ助祭殉教者
13日(金)	↑B.クレアリー(2005年)
15日(日)	聖母の被昇天 大名町教会英語ミサ
17日(火)	福岡教区幼児教育連盟 研修会
18日(水)	↑ミカエル堤要吉(2002年 浄水通教会)
20日(金)	↑D.グリフィン(2001年 玉名教会) ↑L.デシャンブ(2001年 八王子教会) ↑ユスティノ三村邦明(2012年 久留米教会)
22日(日)	年間第21主日 箱崎教会司牧訪問
24日(火)	聖バルトロマイ使徒 (宗教法人)幼稚園・認定こども園・保育園 理事会
25日(水)	↑フランシスコX.堤敏雄(2011年 飯塚教会)
27日(金)	福岡地区カトリック女性の会・モニカ祭
28日(土)	九州青年キャンプ(Zoom)
29日(日)	年間第22主日 大名町教会堅信式
30日(月)	↑J.ガイヤール(2007年 水巻教会)

被造物を大切に作る世界祈願日 9月 5日(日) 日本カトリック平和旬間 8月6日(金)～15日(日)
世界難民移住移動者の日(献金) 9月26日(日) ◇心を合わせて祈り、日々の歩みを振り返る機会といたしましょう◇

◆ **福岡**

※感染症の状況によつては開催が中止となる場合もあります。

■震災のための祈りのリレー
125ヶ月目(日時) 8月11日(水) ミサ6時30分から夕の祈り16時30分(場所) 聖パウロ会福岡修道院(問合せ先) ☎070・2820・
9月6日 師イエス祈り会 Br.阿部(パウロ会)

■福岡チエナクルム(マリアの司祭運動)(日時) 8月18日(水) / 9月15日(水) 10時から聖体賛美式とロザリオ、分かち合い(場所) 大楠教会(指導) パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会(問合せ先) ☎092・3636永田

「忘れない、沖縄」
福岡地区信徒使徒職協議会 宣教社会部
佐田 一兵 (大名町教会)

仕事の関係でよく沖縄に行きます。戦後76年、今年の慰霊の日(6月23日)は、市長会・町村会会長などだけと、昨年以上に参加者が制限された式典になりました。私も式典に合わせ12時に黙祷を捧げました。新聞によると「慰霊の日」を知らない方も多いようです。

“沖縄戦！”それは本土決戦までの時間稼ぎのために「捨石」とされた沖縄の人々の“いのち”の犠牲そのものでした。日本で唯一地上戦が戦わされ“沖縄戦”に参戦した米兵も「あらゆる地獄を見た」と伝えています。日本軍の肉弾戦に怯え14,000人以上の米兵が精神異常をきたしたことからもそのことが伺われます。

沖縄には、その“沖縄戦”で亡くなられて現在も埋もれたままになっている遺骨が沢山あり、今、その遺骨が混じった土砂が辺野古新基地建設の埋め立てに使われようとしている事が大きな社会問題になっています。ガマフヤー・具志堅隆松さんは「戦没者の尊厳を守らなければならない」とハンガーストライキをも実施して反対活動を続けてこられ、その活動は沖縄社会では大きなムーブメントになっていて、本土の人々の良心にも訴えています。遺族の方々の心を傷つける人道上の問題は、平和を求める「ウチナンチュのこころ」を燃え上がらせていると言っても過言ではないようです。

大航海時代、琉球に着いたポルトガル人は琉球人のことを「レキオス」と呼び「友好的で武器を持たず平和を愛する人たち」と伝えています。

沖縄戦の鉄血勤皇隊の生き残りでもある大田昌秀・元沖縄県知事は、『ウチナンチュのこころ』として戦争の加担者になることを沖縄の人々は望まない」と訴え、またその戦争経験から、戦後遺言的な言葉を言い続けて来ました。それは「軍隊は人を守らない」。

日本カトリック平和旬間にあたり、大田昌秀さんの言葉を静かに黙想したいと思います。

海軍戦没者慰霊塔
(旧海軍司令部壕)
大田実少将は自決直前にこの地から次のように打電した。
「沖縄県民斯克戦ヘリ 県民ニ対シ 後世特別ノ御高配ヲ 賜ランコトヲ」

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリードール

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 **福岡メモリードール** (検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！

<http://www.paulus.jp>
パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために・・・

サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930